

前回はこの時期に気に入る乾燥肌(乾皮症)について説明しました。今回は、乾皮症に対する治療についてお話しします。

乾皮症に対する治療の基本は、まず第一に保湿クリームを塗ることです。水を飲むと乾燥肌が良くなるという誤った情報がありますが、たくさん水を飲んでも皮膚の乾燥は治りません。乾燥肌の原因はあくまでも皮膚が水分を保持できないことが原因です。特に中高齢者の方は水分を保つ機能が低下し肌が乾燥しやすくなりますので、注意が必要です。

自分が皮膚から飛んでしまう前に塗ると高い効果が得られるからです。目安としては入浴後15分以内に塗ると良いといわれています。保湿剤の外用を習慣的に行い、湿疹がある場合には副腎皮質ホルモン外用薬を用いた湿疹の治療も行っていきます。そして、かゆみが強い場合はかゆみ止めの飲み薬(抗ヒスタミン薬内服)を追加で出すこともあります。

いわて医療通信【皮膚科医が語る、お肌の話】



2. 乾燥肌の治療について

岩手医科大学 医療
過度な使用を控える、そして、十分に洗い流す、などです。そして、繰り返しになりますが、入浴後は早めに保湿クリームを塗ることが重要です。また、こたつや湯船にいるときに水分蒸散を防ぐことにより水分蒸散を抑え、角層水分量を増加させます。保湿剤は、皮膚を被覆する「モイスチャライザー」があります。それぞれ長所、短所があるのでどちらが自分に合うか、皮膚科の専門医にご相談ください。

内丸メディカルセンターは、紹介状の有無に関わらず受診が可能です。

岩手医科大学医学部
皮膚科学講座

天野 博雄

内丸メディカルセンターは、紹介状の有無に関わらず受診が可能です。